

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
会長

畔柳 信雄

公益財団法人日本テニス協会の実業団委員会が日本テニス界の普及の一翼を担って開催してまいりました「全国実業団対抗テニス大会－ビジネスパル・テニス－」は、今年で52回を迎える大会となりました。今回の大会は、復興へと努力を続けている福島県で開催されます。この大会が少しでも復興支援の力となりますよう準備して参りました。福島県テニス協会、福島市テニス協会の御尽力とともに福島県と福島市のご協力により、本大会が開催出来ますことは誠にご同慶に堪えません。

実業団の大会に於いて、団体戦の国内最高峰であります日本リーグでは、プロ選手を含む日本のトッププレーヤーや外国人選手の出場によってハイレベルな試合が繰り広げられています。ビジネスパル・テニスも同様に、実業団一般大会の団体戦の頂点として毎年、熱戦が繰り広げられております。今回の福島大会も例年以上に盛り上がることを期待しております。

厳しい地域、地区予選を勝ち抜かれ、見事全国大会に出場された男子32チーム、女子20チームの皆様には、日頃の練習成果を遺憾なく発揮されて素晴らしいテニスプレーを繰り広げると同時に、試合以外の時には全国各地のお互いの情報交換などを行い、大いに友好関係を深めて頂き、その活力がこの地に力を与えていただければと思っております。

最後になりましたが、この厳しい情勢下でも企業スポーツの大事さをご理解頂いて選手を派遣頂いている各企業の皆様、本大会にご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社様、この大会を全国に報道頂く朝日新聞社様をはじめ、ご協力、ご支援を頂いております関係各位に心から感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ



東北テニス協会
会長

庄司 秀雄

各地域の予選を勝ち抜かれた代表チームの皆様をお迎えして、ここ福島県福島市において、第52回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）が開催されますことは、まことに慶びにたえません。

さて、一昨年の東日本大震災では、東北地方において過去経験したことの無い甚大な被害をうけました。今年七月に日本テニス協会会長並びに東北協会役員と福島県南相馬市を視察した折にも、未だに復興にはほど遠い現状を目の辺りにいたしました。しかしながら、今日現在においても全国のテニス仲間よりチャリティイベントによる義援金などが寄せられており全国の皆様のご支援に対し心よりの感謝を申し上げます。この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、参加される各チームの皆様には、これまで鍛えた力と技を十分に発揮されますとともに、大会を通して全国のテニス仲間との交流を通じてより一層絆を深められることを切望しております。

終わりに、本大会の開催にあたり、御支援と御協力をいただきました福島県テニス協会の皆様をはじめ関係各位に対し、心から感謝申し上げます、ご挨拶といたします。